

## 1. 概要

Early Observer MEL-E Uno MELSEC iQ-R用接続ソフトウェアについて解説します。

※2025/6/6 修正

この解説書では、MELSEC iQ-Rの"スロット0"に装着したEthernetインタフェースユニットの"ポート1"でMEL-E Unoと通信するシーケンス例を示します。

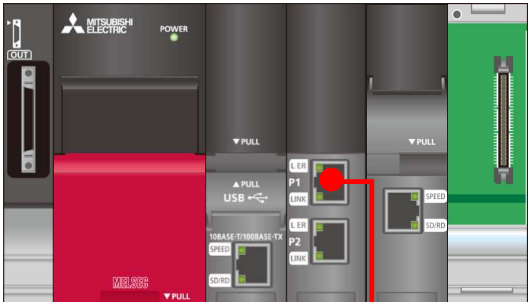
※Ethernetインタフェースユニットは、"RJ71EN71"の使用を推奨します。

MELSEC iQ-R RnENCPUでは、ネットワーク部Ethernetポート(P1)でMEL-E Unoと通信します。ポート(P2)はMEL-Eと通信できません。

※2022/1/31 追記

### [ システム構成図 ]

シーケンサ MELSEC iQ-R

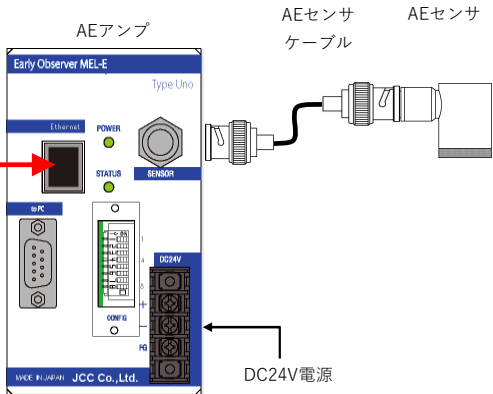


■ サンプルシーケンス ユニット構成

※2026/3/2 修正

| スロット  | ユニット名        | 形式       |          |
|-------|--------------|----------|----------|
|       |              | RnCPU    | RnENCPU  |
| CPU   | CPU          | R04CPU   | R04ENCPU |
| I/O 0 | Ethernetユニット | RJ71EN71 | ※Port1   |
| I/O 1 | 高速データロガー     | RD81DL96 | RD81DL96 |

※RnENCPUでは、  
Port1に接続します。



Early Observer MEL-E Uno 1stのMELSEC iQ-R用接続ソフトウェアは、ラベル機能を使用したFBライブラリで提供されます。

- ・ラベルとは、入出力データや内部処理に任意の文字列を指定した変数です。
- ・FBとはファンクションブロックの略称で、シーケンス内で使用する回路ブロックを部品化してシーケンスプログラム内で流用できるようにしたものです。

MELSEC iQ-R用接続ソフトウェアは次の4つのFBで構成されます。

1. Initialize Data : 初期設定FB
2. Time Adjustment : 時刻設定FB
3. Sensor Check : センサ信号チェックFB
4. Mesurement Start/Stop : 計測開始FB

- MEL-E Unoに初期設定を行うFBです。  
MEL-E Unoにシーケンサの時刻を同期させるFBです。  
MEL-E Unoでセンサ信号チェックを行うFBです。  
MEL-E UnoでAEセンサの計測を行うFBです。

※注意1 Initialize:初期設定FBは内部を覗いて変更できますが、他のFBは部品化されており内部を覗くことはできません。

※注意2 この接続用ソフトウェアでは、例として下記のデバイスを使用しています。

| デバイス | 先頭    | 最終    |
|------|-------|-------|
| M    | M7101 | M7390 |
| D    | D7000 | D7830 |

既存シーケンスのデバイスと重複する場合は、デバイス番号を変更してご使用ください。

※注意3 MELSECの"コンスタントスキャン"機能は使用できません。

※2022/3/30 追記

"コンスタントスキャン"ではPLC側のタイミングでEthernet通信が行われるため、MEL-EではEthernet通信ができません。

※注意4 MEL-E とEthernetポートは1対1で接続してください。

※2025/6/6 追記

HUB等を介した複数台接続の同時計測は、AE計測データ取りこぼしの恐れがあり動作保証の対象外です。

※注意5 AE計測の「送信間隔」(エッジ処理時間)はシーケンススキャンタイムの4倍以上の数値を指定してください。

※2025/6/6 追記

「送信間隔」が早いと、AE計測データの取りこぼし、Ethernet通信の途中停止が発生します。

## ■ シーケンサAE計測の手順

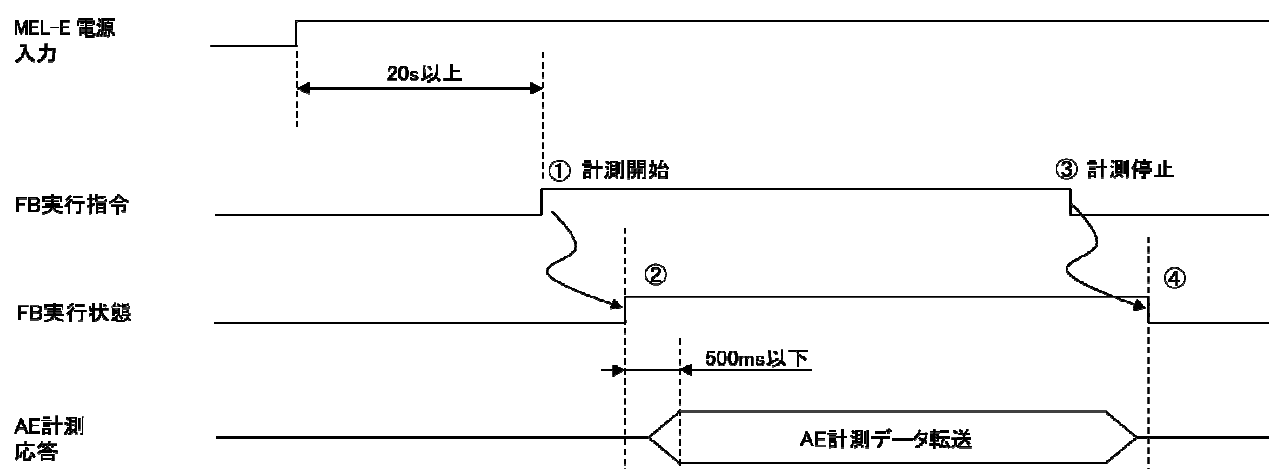
※2026/5/29 追記

シーケンサ(PLC)からのAE計測はつぎの手順で行ってください。

シーケンサ(PLC)からAE計測する場合の手順を示します。

- (1) AE計測FBの“実行指令”をオンする。
- (2) AE計測データを受信する。
- (3) AE計測FBの“実行指令”をオフする。
- (4) AE計測FBの“実行状態”オフを確認する。

(AE計測のシーケンスが終了)



※注意6 AE計測はMEL-E の電源をオンしてから20秒以降に行ってください。

(MEL-E は電源オンから最大20秒後に起動完了[POWER LED：緑点灯]します)

## 2. 接続用ソフトウェアの組込み

MELSEC iQ-R用接続ソフトウェア(FBライブラリ)は次の手順で、MELSEC iQ-R用ソフトウェアに組込んでください。

1. 既存のGX3プロジェクトを開く、または新規でGX3プロジェクトを作成します。

※ プロジェクトを新規作成する場合は、新規作成選択後のポップアップウィンドウ内で「ユニットラベル：使用する」に変更します。

- (1) ユニット追加ウィンドウで「設定変更」をクリックする。
- (2) オプションウィンドウが開きます。動作設定、ユニットラベルを使用する「はい」を選択します。
- (3) 「OK」をクリックします。
- (4) ユニット追加の確認ウィンドウに戻り「OK」をクリックします。



2. GX Works3のメニューを下記のように辿り"Early Observer MEL-E Sample-software CD""For MELSEC iQ-R"内のFBファイルを開いてください。

プロジェクト→ライブラリ操作(L)→ライブラリ一覧に登録(E)→「ユーザライブラリ(U)...」をクリックする。

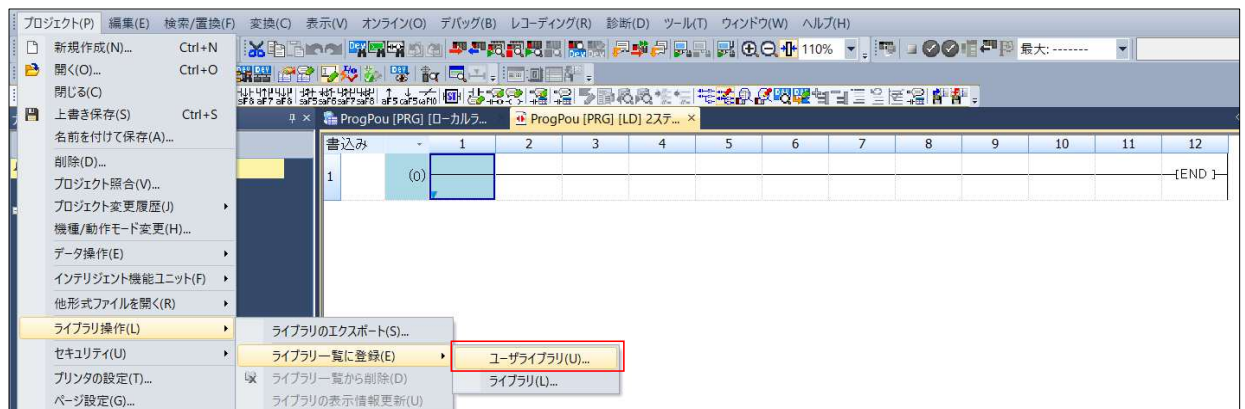
"Early Observer MEL-E Sample-software CD" ¥ EO MEL-E Uno ¥ For MELSEC iQ-R

**MEL-Eを接続するEthernetユニットに適合するユーザライブラリのファイルを選択して開きます。**

※2026/6/22 修正

- ・ EthernetユニットRJ71EN71(E+E) : JCC-MEL-E\_r\_v103A.usl
- ・ CPU拡張ユニットRJ71EN71(E+IEC) : JCC-MEL-E-RnENCPU\_E+EC\_r\_v103A.usl
- ・ CPU拡張ユニットRJ71EN71(E+IEF) : JCC-MEL-E-RnENCPU\_E+EF\_r\_v103A.usl

※末尾の番号はファイル作成時のバージョン表記で、予告なく変更されます。

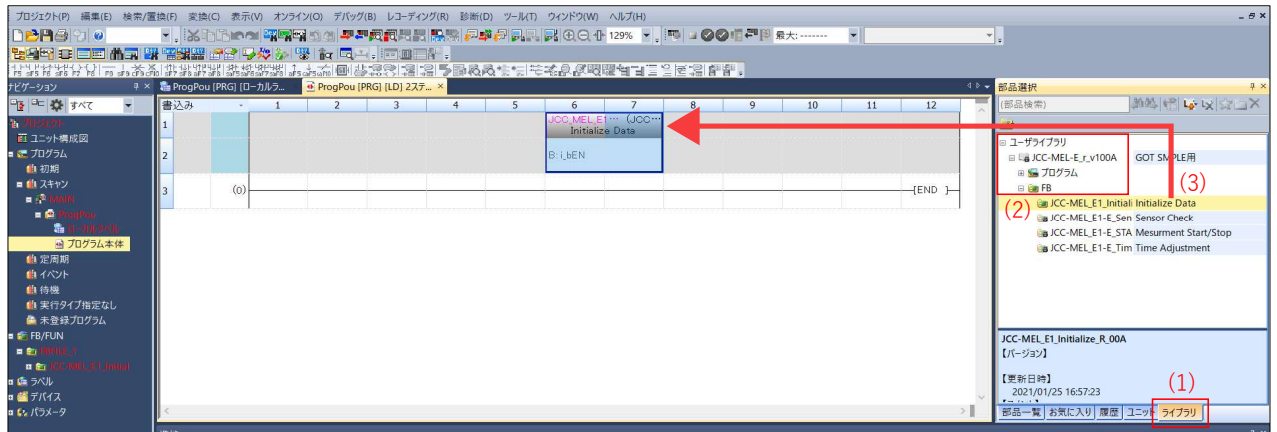


3. 上記の操作後は、部品選択ウィンドウのユーザライブラリにFBが登録されます。

※ この操作を実行するとFBがGX Works3に登録されます。2度目以降は何度でもFBを使用できます。

4. 部品選択ウィンドウからシーケンスラダー画面にFBをドラッグアンドドロップして移動します。

- (1) 部品選択ウィンドウ「ライブラリ」タブをクリックする。
- (2) 「ユーザーライブラリ」の「+」をクリック→「JCC-MEL-E\_\*\*\*\*」の「+」をクリック→「FB」の「+」をクリックする。  
※「JCC-MEL-E\*\*\*\*」では、適用するFBを選択してください。
- (3) FBをシーケンスラダーにドラッグアンドドロップして、登録する。

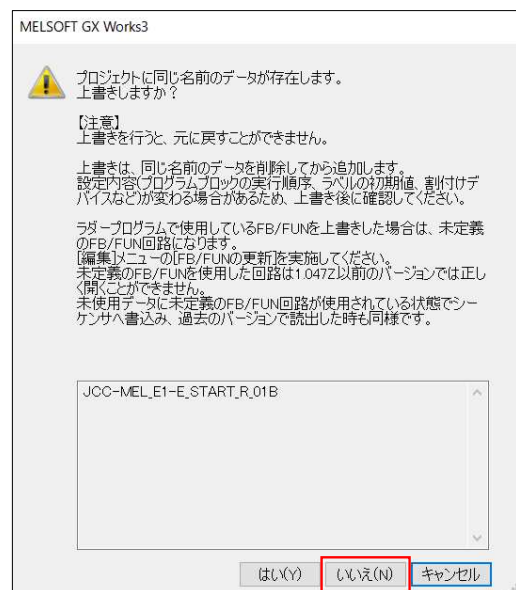


#### 【注意】同じFBライブラリを複数回組み込む場合の注意事項

※2022/3/30 追記

同じFBライブラリを複数回ドラッグアンドドロップで組込むと、上書きの警告ウィンドウが開きます。「いいえ」を選択してください。

- (1) 同じFBライブラリを複数回ドラッグアンドドロップすると、上書きの警告ウィンドウが開きます。



- (2) 「いいえ」をクリックして、FBを組込んでください。

【注意】”ユニットラベル：使用しない”のプロジェクトで”ユニットラベル：使用する”に変更する方法。

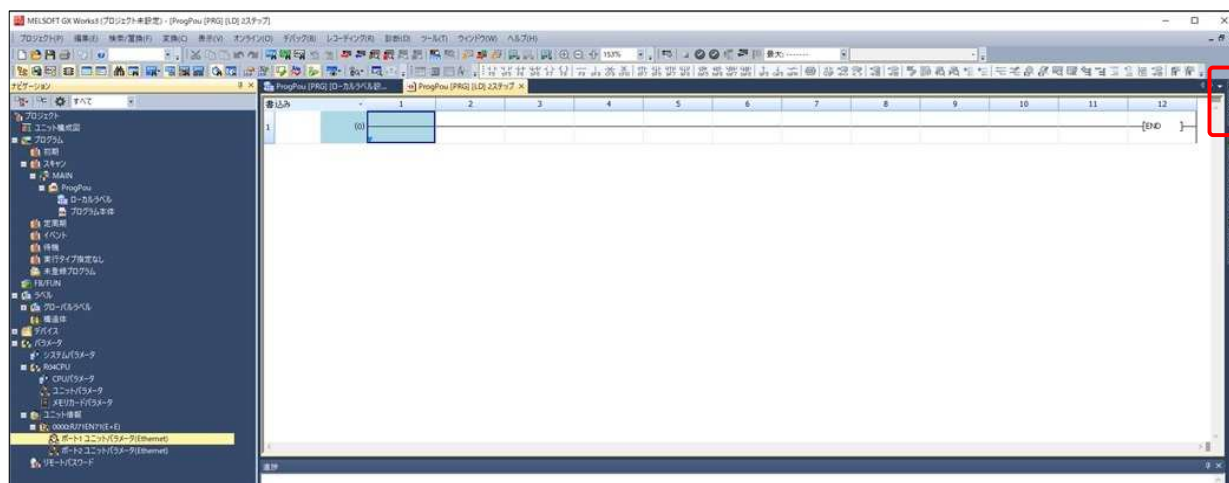
※2021/11/11 追記

次の手順でユニットラベルを追加してください。

1. 画面右端にある[部品選択]タブをクリック

※ 画面に「部品選択」タブが表示されていない場合は、[表示]→[ドッキングウィンドウ]→[部品選択]で表示します。

※ 画面に「部品選択」ウィンドウが表示されている場合は、そのまま手順2に進みます。



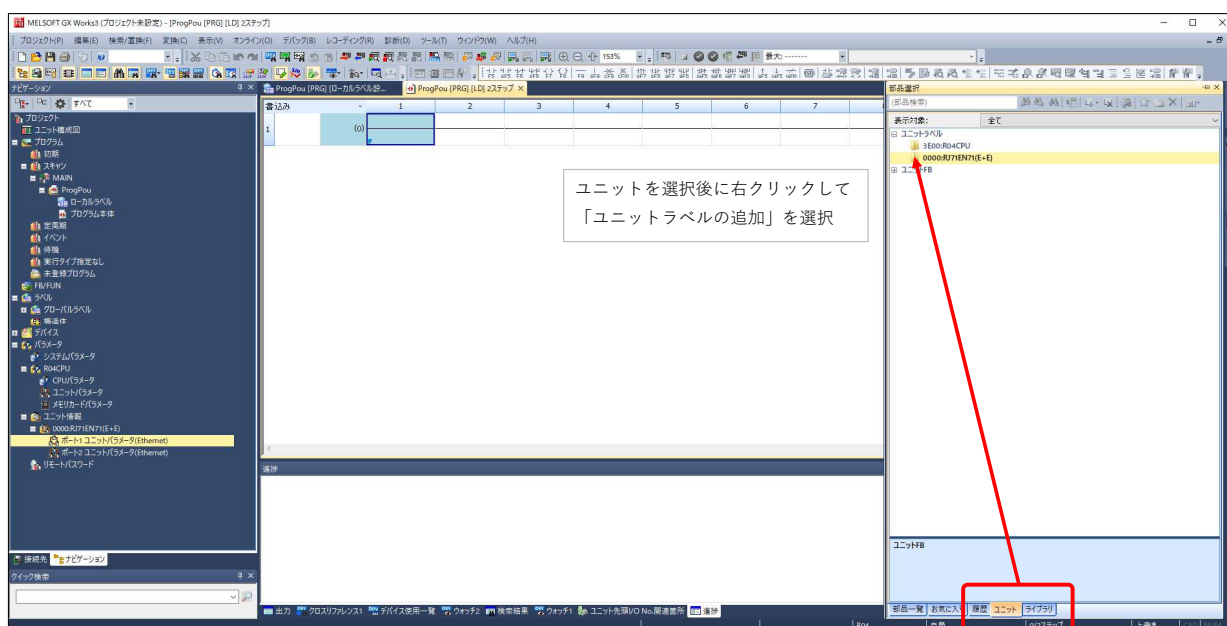
2. [ユニット]タブを選択して、ユニットラベルを追加したいユニットを選択後に右クリック「ユニットラベルの追加(U)」でユニットラベルを追加

(1) 部品選択ウィンドウの[ユニット]タブをクリックします。

(2) [ユニットラベル]の[+]をクリックします。

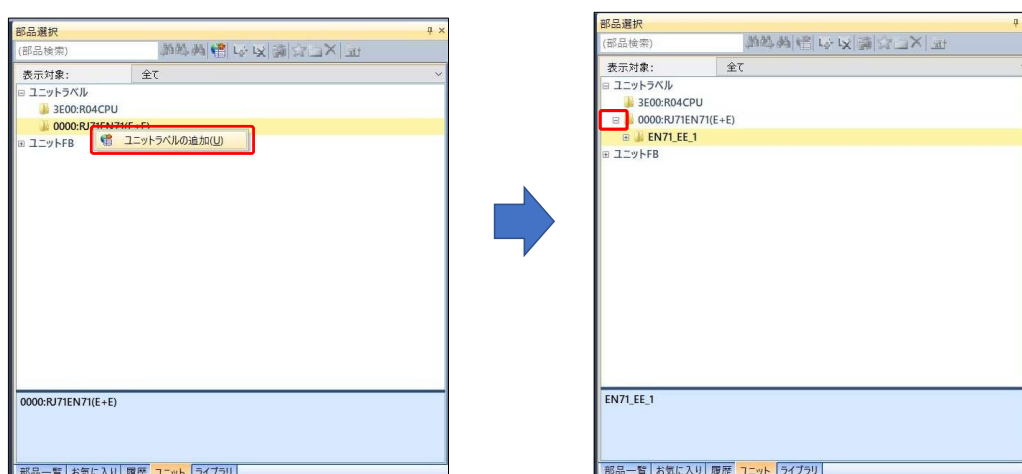
(3) ユニットラベルを追加したいユニット (例：RJ71EN71(E+E))を右クリックします。

※2021/11/11 修正



(4) 「ユニットラベルの追加」ポップアップをクリックします。

(5) ユニットの[+]をクリックすると追加されたユニットラベル (例：EN71\_EE1) が確認できます。



### 3. Ethernetポートの設定

#### 3-1. EthernetインターフェースユニットRJ71EN71

Ethernetポートの設定は次の手順で、MELSEC iQ-Rのパラメータに設定してください。

##### ■ Ethernetインタフェースユニットのパラメータ設定

※2026/5/29 修正

※スロット0にEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を装着し”ポート1”でMEL-E Unoと通信する場合の設定例

##### 1. プロジェクトにEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を追加します。

※すでにEthernetインタフェースユニットRJ71EN71がある場合、「2」に進んでください。

GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、“ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)”を開いてください。

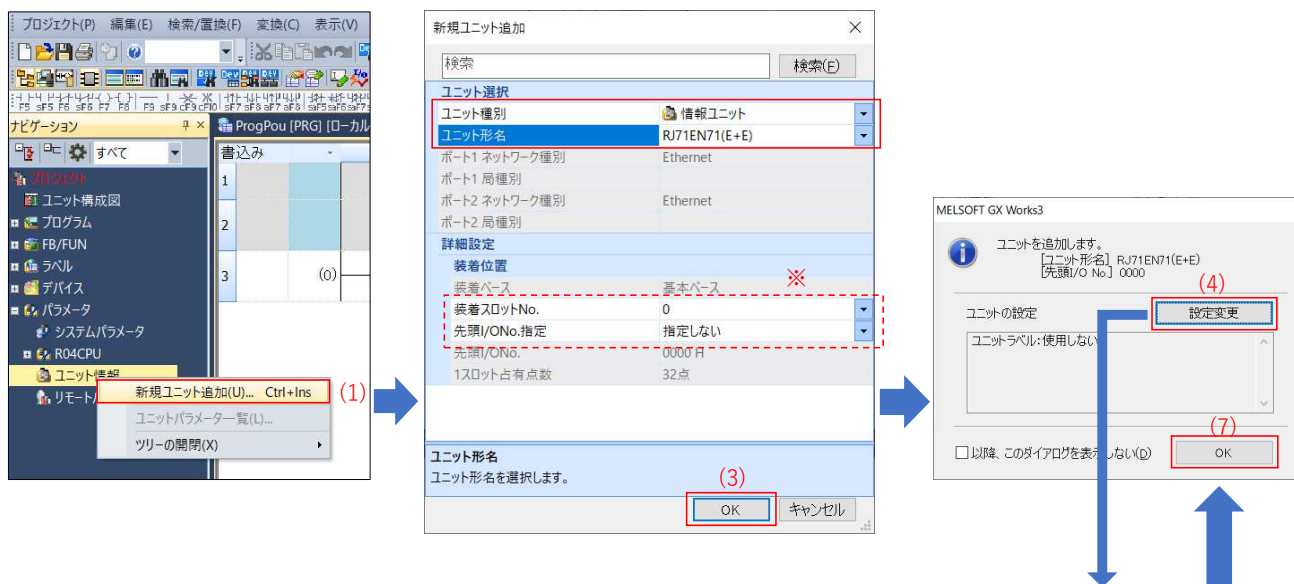
(1) ナビゲーション→パラメータ→「ユニット情報」で右クリック→「新規ユニット追加(U)…」 Ctrl+Ins」をクリックする。

(2) 新規ユニット追加で、ユニット種別「情報ユニット」、ユニット形名「RJ71EN71(E+E)」を選択する。

(3) 「OK」をクリックします。

※”装着スロットNo.”, ”先頭I/ONo.指定”はご使用の環境に応じて変更してください。

(4) ユニットの追加の確認ウィンドウが開きます。「設定変更」をクリックします。



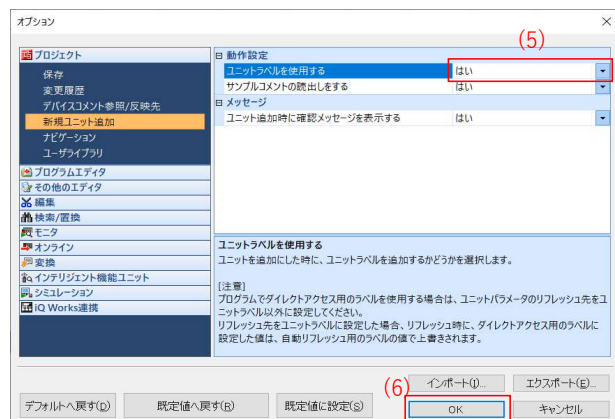
##### (5) オプションウィンドウが開きます。

動作設定、ユニットラベルを使用する「はい」を選択します。

(6) 「OK」をクリックします。

(7) ユニットの追加の確認ウィンドウに戻ります。

「OK」をクリックします。

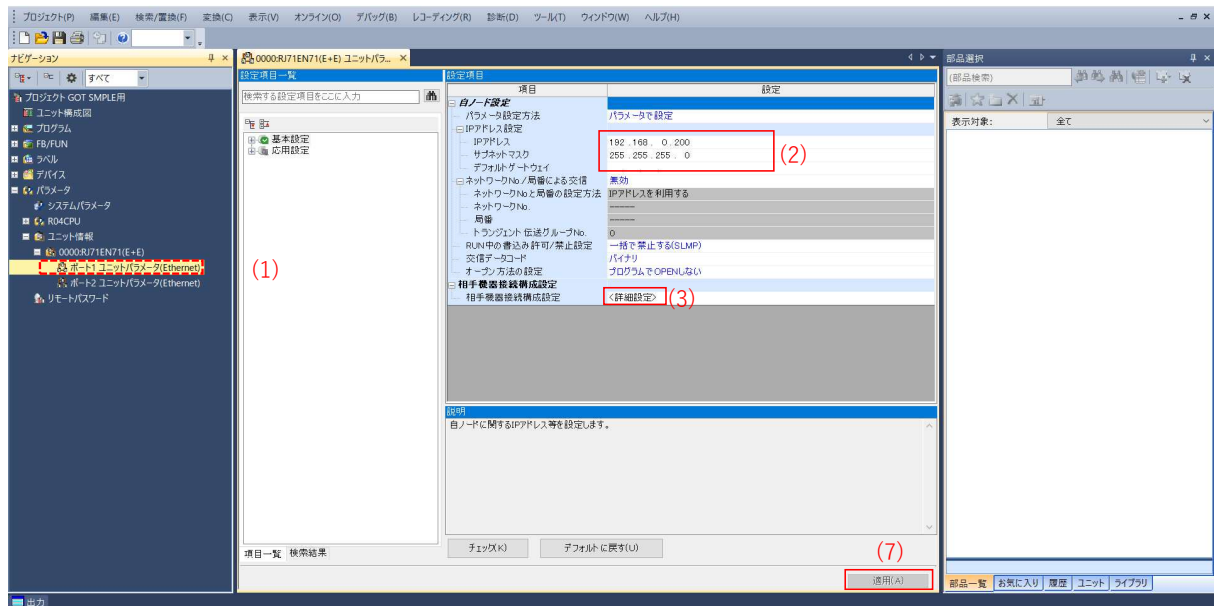




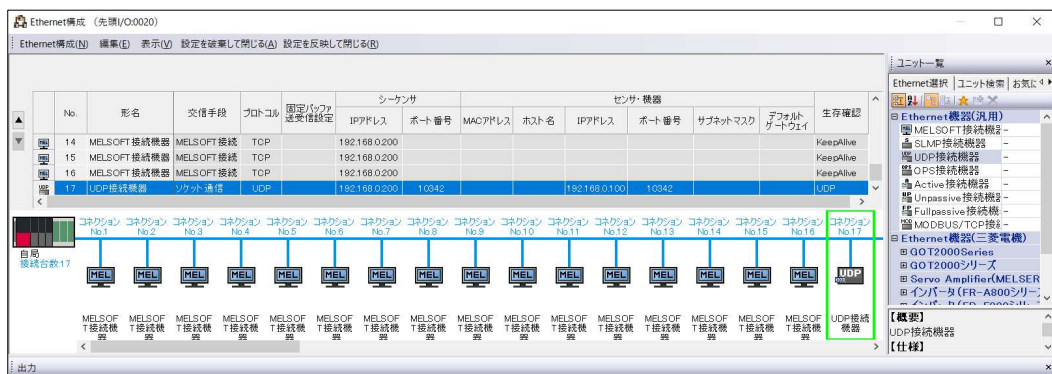
2. GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。

※2025/6/6 修正

- (1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:RJ71EN71(E+E)→「ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリックする。
- (2) 各項目を次のように設定します。  
 IPアドレス : 192.168.0.200  
 サブネットマスク : 255.255.255.0



- (3) 相手機器接続構成設定の「<詳細設定>」をダブルクリックします。
- (4) ユニッタ一覧ウィンドウの「Ethernet機器(汎用)」[+]をクリック  
 コネクションNo.1～16には、"MELSOFT接続機器"を設定します。  
 →「UDP接続機器」をドラッグアンドドロップして左のウィンドウに登録します。
- (5) 各項目を設定します。  
 送信手段 : ソケット通信  
 シーケンサ : IPアドレス : 192.168.0.200、ポート番号 : 10342  
 センサ・機器 : IPアドレス : 192.168.0.100、ポート番号 : 10342
- (6) メニューの「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして、ウィンドウを閉じます。
- (7) 「適用」をクリックします。



※ MEL-EをRJ71EN71のPort2に接続する場合はコネクションNo.1に設定してください。



【注意】EthernetインターフェースユニットRJ71EN71に2台のMEL-E Unoを接続する場合の設定方法。

※2026/5/29 修正

※RJ71EN71のポート1とポート2で異なる"IPアドレス"を設定してください。

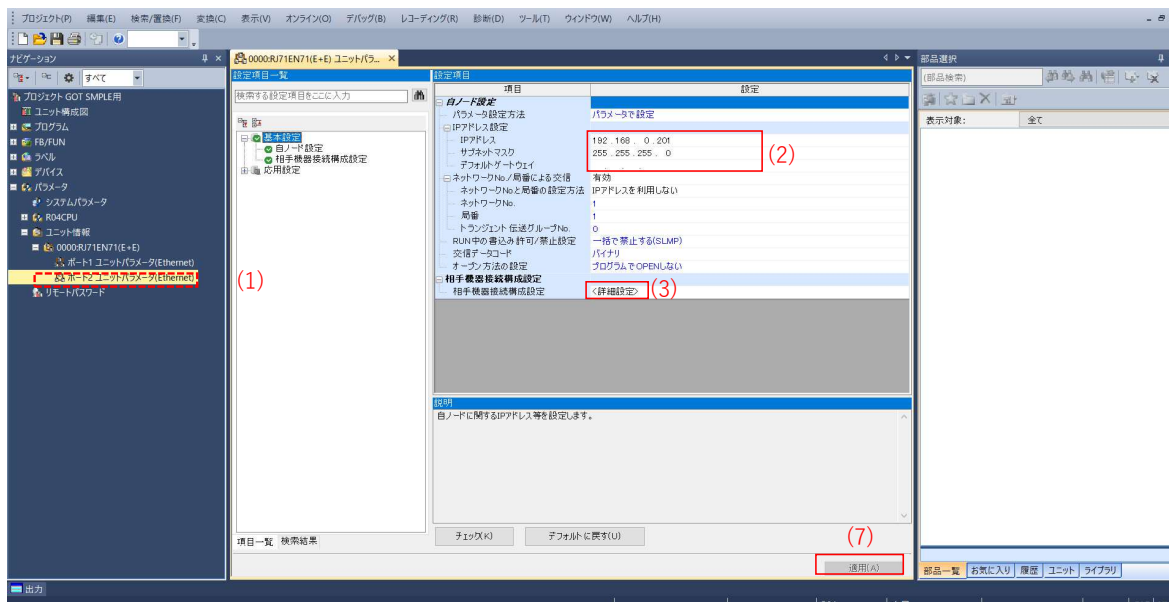
■ Ethernetインタフェースユニットのパラメータ設定

スロット0にEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を装着し"ポート2"でもMEL-E Unoと通信する場合の設定例

1. GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート2ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。

- (1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:RJ71EN71(E+E)→「ポート2ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリック。
- (2) 各項目を次のように設定します。

IPアドレス : 192.168.0.201  
サブネットマスク : 255.255.255.0



- (3) 相手機器接続構成設定の「<詳細設定>」をダブルクリックします。
- (4) ユニッタ一覧ウィンドウの「Ethernet機器(汎用)」[+]をクリック  
→ コネクションNo.1に「UDP接続機器」をドラッグアンドドロップして登録します。
- (5) 各項目を設定します。  

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 通信手段   | ソケット通信                             |
| シーケンサ  | IPアドレス: 192.168.0.201、ポート番号: 10342 |
| センサ・機器 | IPアドレス: 192.168.0.100、ポート番号: 10342 |
- (6) メニューの「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして、ウィンドウを閉じます。
- (7) 「適用」をクリックします。



2. PCで"AE SYSTEM SUPPORT TOOL"ソフトウェアを使用して、MEL-Eの通信先IPアドレスを変更します。(AE TOOL Ver.0.1以降)

- (1) PCとMEL-E Unoを"PC接続用ケーブル"で接続し、AE SYSTEM SUPPORT TOOLを起動します。
- (2) メニューの「設定(S)」をクリックして、設定画面を開きます。
- (3) 通信設定2 (MELSEC・PC側)の「IPアドレス」を設定し、[書込み]をクリックします。

通信先IPアドレス : 192.168.0.201



- (4) MEL-E Unoの電源をオフして、再投入します。

【注意】 PCとMEL-E Unoを"PC接続用ケーブル"で接続して通信すると、MEL-E UnoとシーケンサのEthernet通信は遮断されます。  
MEL-E UnoとシーケンサのEthernet通信を再開する場合は、MEL-E Unoの電源を再投入してください。

※ "AE SYETSM SUPPORT TOOL"ソフトウェア の操作の詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。

※2022/3/25 修正



Ethernetポートの設定は次の手順で、MELSEC iQ-Rのパラメータに設定してください。

### ■ RnENCPUのネットワーク部のパラメータ設定

※RnENCPUではネットワーク部の"ポート1"でMEL-Eと通信します。（ネットワーク部"ポート2"はMEL-Eと通信できません。）

- プロジェクトにRnENCPUのネットワーク部を追加します。 ※すでにRnENCPUのネットワーク部設定が在る場合は「2」に進みます。

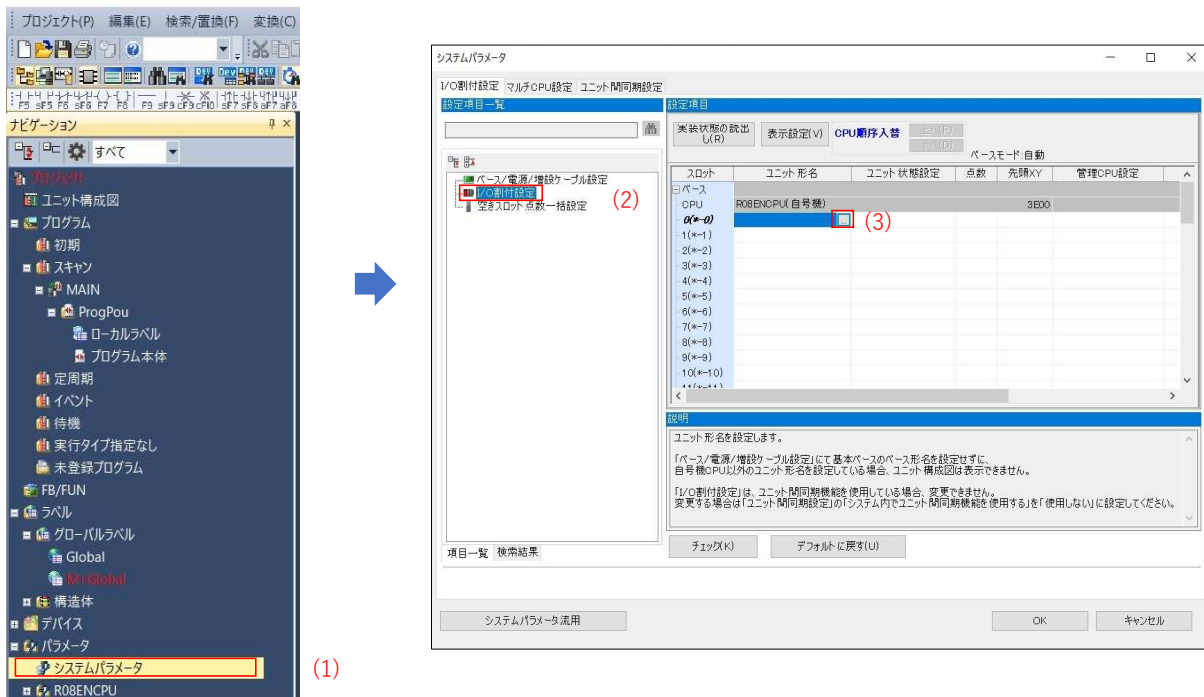
GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"システムパラメータ"を開いてください。

- ナビゲーション→パラメータ→「システムパラメータ」をダブルクリックする。

※確認ウィンドウが開いた場合は「OK」をクリックする。

- システムパラメータで、「I/O割付設定」をクリックします。

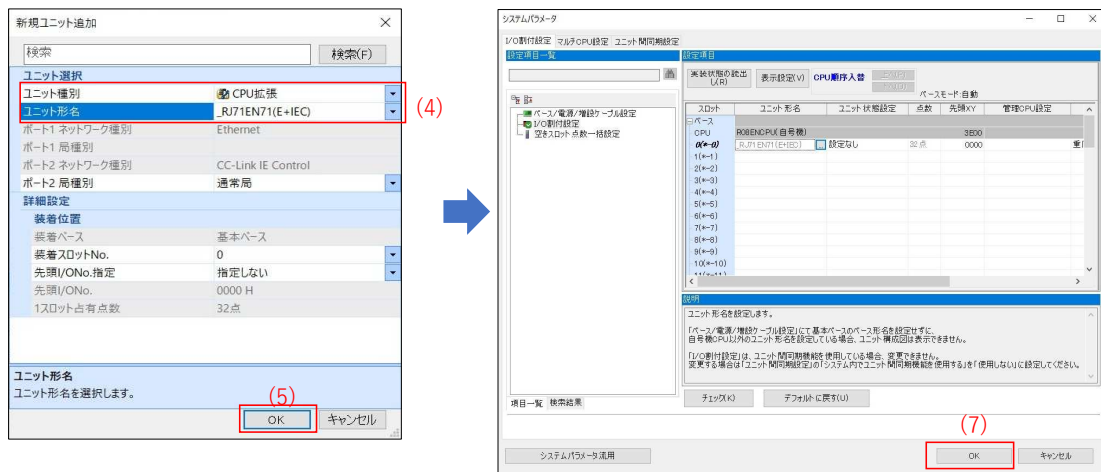
- スロット 0(\*-0)のユニット形名「…」をクリックします。



- 新規ユニット追加で、ユニット種別「CPU拡張」、ユニット形名「\_RJ71EN71(E+IEC)」または(E+IEF)を選択する。

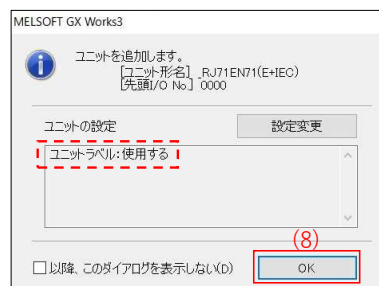
- 「OK」をクリックします。

- システムパラメータに戻り、「OK」をクリックします。



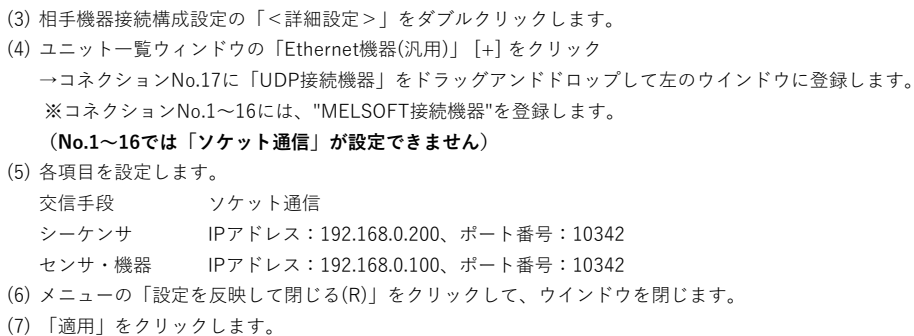
- ユニット追加の確認ウィンドウが開きます。

"ユニットラベル：使用する"を確認して「OK」をクリックします。



(1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:\_RJ71EN71(E+IEC)  
※ユニット形名で\_RJ71EN71(E+IEF)を選択した場合は、そちらを開いてください。  
→「ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリックする。

- ```
IPアドレス           : 192.168.  0.200
サブネットマスク     : 255.255.255.  0
```



## 4. 接続用ソフトウェア(FB)の解説

### 4-1. Initialize Data

MEL-E Unoの初期設定値を設定するFBです。

FBの実行でMEL-E Unoの初期設定値として下記の値を設定します。

※初期値はMEL-E Unoの使用状況に応じて変更してご使用ください。

| 初期設定項目     | 初期値 | 設定範囲                                                            |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------|
| ファイルフォーマット | K1  | 0 : バイナリ、1 : CSV (EO-MEL-E-Uno-1stでは機能しません)                     |
| 送信間隔       | K1  | 0 : 10ms, 1 : 20ms, 2 : 50ms, 3 : 100ms, 4 : 1000ms, 5 : 2000ms |
| ゲイン        | K30 | 0 : 0dB, 10 : 10dB, 20 : 20dB, 30 : 30dB, 40 : 40dB, 50 : 50dB  |
| HPF        | K30 | 0 : THRU, 30 : 30kHz, 50 : 50kHz, 100 : 100kHz, 150 : 150kHz    |
| しきい値       | K0  | 0 : 0% - 100:100%                                               |
| 交点数モード     | K1  | 1 : 0V交点数モード, 3 : しきい値交点数モード                                    |
| センサチェック    | K0  | 0 : 調整計測, 1 : 交換計測                                              |
| Energy 按分値 | K0  | 0 : 0 - 9                                                       |

※2026/5/29 追記

※2021/8/3 誤記修正

※2026/5/29 追記

#### 【使用方法】

RUN中1スキャンで動作させてください。(例: SM402)

※注意事項: AEセンサの計測中は実行できません。

#### 【シーケンス例】



#### 【FB内部シーケンス】



MEL-E Unoを増設したときのデバイス番号の変更例を示します。

※2026/5/29 修正

| 初期設定項目     | MEL-Eユニット |       |       |       |       |       |
|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|            | 1         | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     |
| ファイルフォーマット | D7201     | D7202 | D7203 | D7204 | D7205 | D7206 |
| 送信間隔       | D7211     | D7212 | D7213 | D7214 | D7215 | D7216 |
| CHゲイン      | D7221     | D7222 | D7223 | D7224 | D7225 | D7226 |
| HPF        | D7231     | D7232 | D7233 | D7234 | D7235 | D7236 |
| しきい値       | D7241     | D7242 | D7243 | D7244 | D7245 | D7246 |
| Countsモード  | D7251     | D7252 | D7253 | D7254 | D7255 | D7256 |
| センサチェック    | D7261     | D7262 | D7263 | D7264 | D7265 | D7266 |
| Energy 按分値 | D7271     | D7272 | D7273 | D7274 | D7275 | D7276 |

## 4-2. Time Adjustment

MEL-E Unoにシーケンサの時刻を同期させるFBです。

FBの実行でシーケンサの時刻をMEL-E Unoに書込みます。

### 【使用方法】

FB実行指令bitをONし、FB 正常終了または異常終了のbitがONしたらFB実行指令bitをOFFします。

※2021/11/11 誤記修正

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

### 【シーケンス例】

※2025/6/6 修正



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Unoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71\_EE\_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71\_EE\_2], コネクション番号=[K65]

※2025/6/6 修正

### 【入出力ラベル説明】

|        | ラベル名       | 種別        | ラベル機能             |
|--------|------------|-----------|-------------------|
| 入<br>力 | i_bEN      | bit       | FB実行指令            |
|        | i_stModule | ユニットラベル   | Ethernetユニットラベル   |
|        | i_uConNo   | ワード[符号なし] | Ethernetコネクション番号) |
| 出<br>力 | o_bENO     | bit       | FB実行状態            |
|        | o_bOK      | bit       | FB正常終了            |
|        | o_bError   | bit       | FB異常終了            |
|        | o_uMErr    | ワード[符号なし] | EthernetユニットエラーID |
|        | o_uErrorId | ワード[符号なし] | FBエラーID           |

### 【FBエラーコード一覧】

| 番号  | 内容          | 対処方法                                                              |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------|
| 200 | コネクション設定範囲外 | Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。                       |
| 210 | 通信タイムアウト    | 原因：FB通信を開始後20秒以上応答がない<br>設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。      |
| 220 | 受信タイムアウト    | 原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。<br>通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認してください。 |

※2022/1/31 修正

※2022/1/31 修正

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

三菱電機(株) MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

MEL-E Unoを増設したときのビット番号・デバイス番号の変更例を示します。

※2025/6/6 修正

|       | ラベル機能             | ラベル名       | MEL-Eユニット |       |       |       |       |       |
|-------|-------------------|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |                   |            | 1         | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     |
| 入力ビット | FB実行指令            | i_bEN      | M7201     | M7202 | M7203 | M7204 | M7205 | M7206 |
| 出力ビット | FB実行状態            | o_bENO     | M7251     | M7252 | M7253 | M7254 | M7255 | M7256 |
|       | FB正常終了            | o_bOK      | M7271     | M7272 | M7273 | M7274 | M7275 | M7276 |
|       | FB異常終了            | o_bError   | M7281     | M7282 | M7283 | M7284 | M7285 | M7286 |
| 出力ワード | EthernetユニットエラーID | o_uMErr    | D7701     | D7702 | D7703 | D7704 | D7705 | D7706 |
|       | FBエラーID           | o_uErrorId | D7721     | D7722 | D7723 | D7724 | D7725 | D7726 |

### 4-3. Sensor Check

MEL-E Unoでセンサ信号チェックを行うFBです。センサチェック(D7261)の値で動作が変化します。

センサチェック=K0

調整計測：AEセンサのレベルチェックを行います。

FBの実行でAEセンサ信号を計測して履歴1に保存します。また、基準値と過去10回の計測値を返信します。

※計測値は過去10回のデータが保存され、10個以上になった場合は古い履歴より上書き保存されます。

センサチェック=K1

交換計測：AEセンサを交換した場合に、AEセンサの基準値を更新します。

FBの実行でAEセンサ信号を計測して基準値に保存します。また、過去10回の計測値を初期化します。

#### 【使用方法】

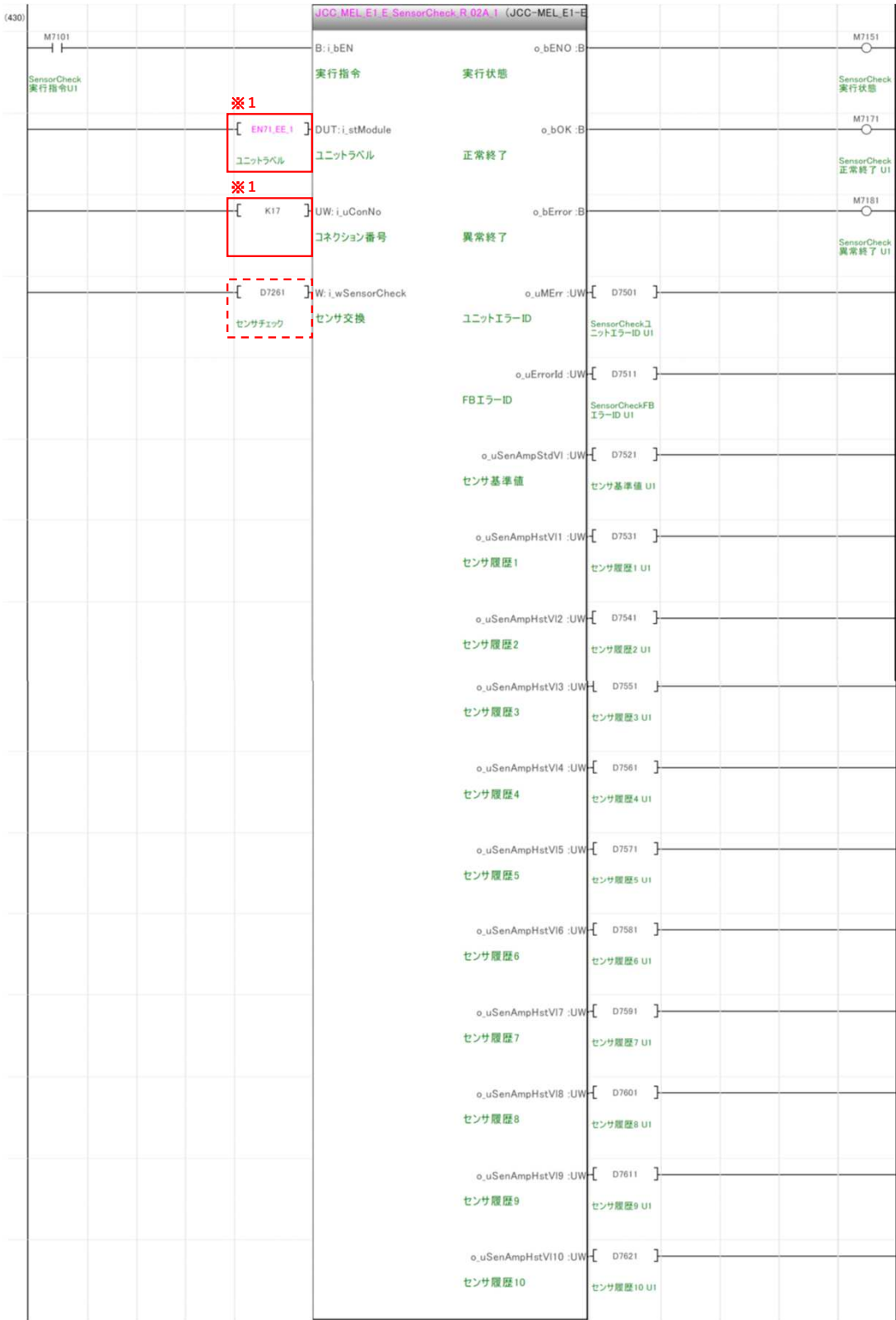
FB実行指令bitをONし、FB 正常終了または異常終了のbitがONしたらFB実行指令bitをOFFします。

※2021/11/11 誤記修正

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

#### 【シーケンス例】

※2025/6/6 修正



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Unoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71\_EE\_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71\_EE\_2], コネクション番号=[K65]

※2025/6/6 修正

【入出力ラベル説明】

|        | ラベル名             | 種別        | ラベル機能               |
|--------|------------------|-----------|---------------------|
| 入<br>力 | i_bEN            | bit       | FB実行指令              |
|        | i_stModule       | ユニットラベル   | Ethernetユニットラベル     |
|        | i_uConNo         | ワード[符号なし] | Ethernetコネクション番号    |
|        | i_wSensorCheck   | ワード[符号付]  | 0x00:調整計測 0x01:交換計測 |
| 出<br>力 | o_bENO           | bit       | FB実行状態              |
|        | o_bOK            | bit       | FB正常終了              |
|        | o_bError         | bit       | FB異常終了              |
|        | o_uMErr          | ワード[符号なし] | EthernetユニットエラーID   |
|        | o_uErrorId       | ワード[符号なし] | FBエラーID             |
|        | o_uSenAmpStdVI   | ワード[符号なし] | センサ基準値(Amplitude)   |
|        | o_uSenAmpHstVI1  | ワード[符号なし] | センサ履歴1(最新)          |
|        | o_uSenAmpHstVI2  | ワード[符号なし] | センサ履歴2              |
|        | o_uSenAmpHstVI3  | ワード[符号なし] | センサ履歴3              |
|        | o_uSenAmpHstVI4  | ワード[符号なし] | センサ履歴4              |
|        | o_uSenAmpHstVI5  | ワード[符号なし] | センサ履歴5              |
|        | o_uSenAmpHstVI6  | ワード[符号なし] | センサ履歴6              |
|        | o_uSenAmpHstVI7  | ワード[符号なし] | センサ履歴7              |
|        | o_uSenAmpHstVI8  | ワード[符号なし] | センサ履歴8              |
|        | o_uSenAmpHstVI9  | ワード[符号なし] | センサ履歴9              |
|        | o_uSenAmpHstVI10 | ワード[符号なし] | センサ履歴10             |

【FBエラーコード一覧】

| 番号  | 内容             | 対処方法                                                              |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 40  | センサ交換チェック設定範囲外 | 0:調整計測または1:交換計測で設定してください。                                         |
| 200 | コネクション設定範囲外    | Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。                       |
| 210 | 通信タイムアウト       | 原因：FB通信を開始後20秒以上応答がない<br>設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。      |
| 220 | 受信タイムアウト       | 原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。<br>通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認してください。 |

※2022/1/31 修正

※2022/1/31 修正

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。  
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

MEL-E Unoを増設したときのビット番号・デバイス番号の変更例を示します。

※2025/6/6 修正

|       | ラベル機能     | ラベル名             | MEL-E ユニット |       |       |       |       |       |
|-------|-----------|------------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |           |                  | 1          | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     |
| 入力ビット | FB実行指令    | i_bEN            | M7101      | M7102 | M7103 | M7104 | M7105 | M7106 |
| 出力ビット | FB実行状態    | o_bENO           | M7151      | M7152 | M7153 | M7154 | M7155 | M7156 |
|       | FB正常終了    | o_bOK            | M7171      | M7172 | M7173 | M7174 | M7175 | M7176 |
|       | FB異常終了    | o_bError         | M7181      | M7182 | M7183 | M7184 | M7185 | M7186 |
| 出力ワード | ユニットエラーID | o_uMErr          | D7501      | D7502 | D7503 | D7504 | D7505 | D7506 |
|       | エラーID     | o_uErrorId       | D7511      | D7512 | D7513 | D7514 | D7515 | D7516 |
|       | センサ基準値    | o_uSenAmpStdVI   | D7521      | D7522 | D7523 | D7524 | D7525 | D7526 |
|       | センサ履歴1    | o_uSenAmpHstVI1  | D7531      | D7532 | D7533 | D7534 | D7535 | D7536 |
|       | センサ履歴2    | o_uSenAmpStdVI2  | D7541      | D7542 | D7543 | D7544 | D7545 | D7546 |
|       | センサ履歴3    | o_uSenAmpStdVI3  | D7551      | D7552 | D7553 | D7554 | D7555 | D7556 |
|       | センサ履歴4    | o_uSenAmpStdVI4  | D7561      | D7562 | D7563 | D7564 | D7565 | D7566 |
|       | センサ履歴5    | o_uSenAmpStdVI5  | D7571      | D7572 | D7573 | D7574 | D7575 | D7576 |
|       | センサ履歴6    | o_uSenAmpStdVI6  | D7581      | D7582 | D7583 | D7584 | D7585 | D7586 |
|       | センサ履歴7    | o_uSenAmpStdVI7  | D7591      | D7592 | D7593 | D7594 | D7595 | D7596 |
|       | センサ履歴8    | o_uSenAmpStdVI8  | D7601      | D7602 | D7603 | D7604 | D7605 | D7606 |
|       | センサ履歴9    | o_uSenAmpStdVI9  | D7611      | D7612 | D7613 | D7614 | D7615 | D7616 |
|       | センサ履歴10   | o_uSenAmpStdVI10 | D7621      | D7622 | D7623 | D7624 | D7625 | D7626 |



## 4-4. Measurement Start/Stop

MEL-E UnoでAEセンサの計測を行うFBです。

FBの実行でAEセンサ計測を行い、“送信間隔”毎に計測データを更新します。

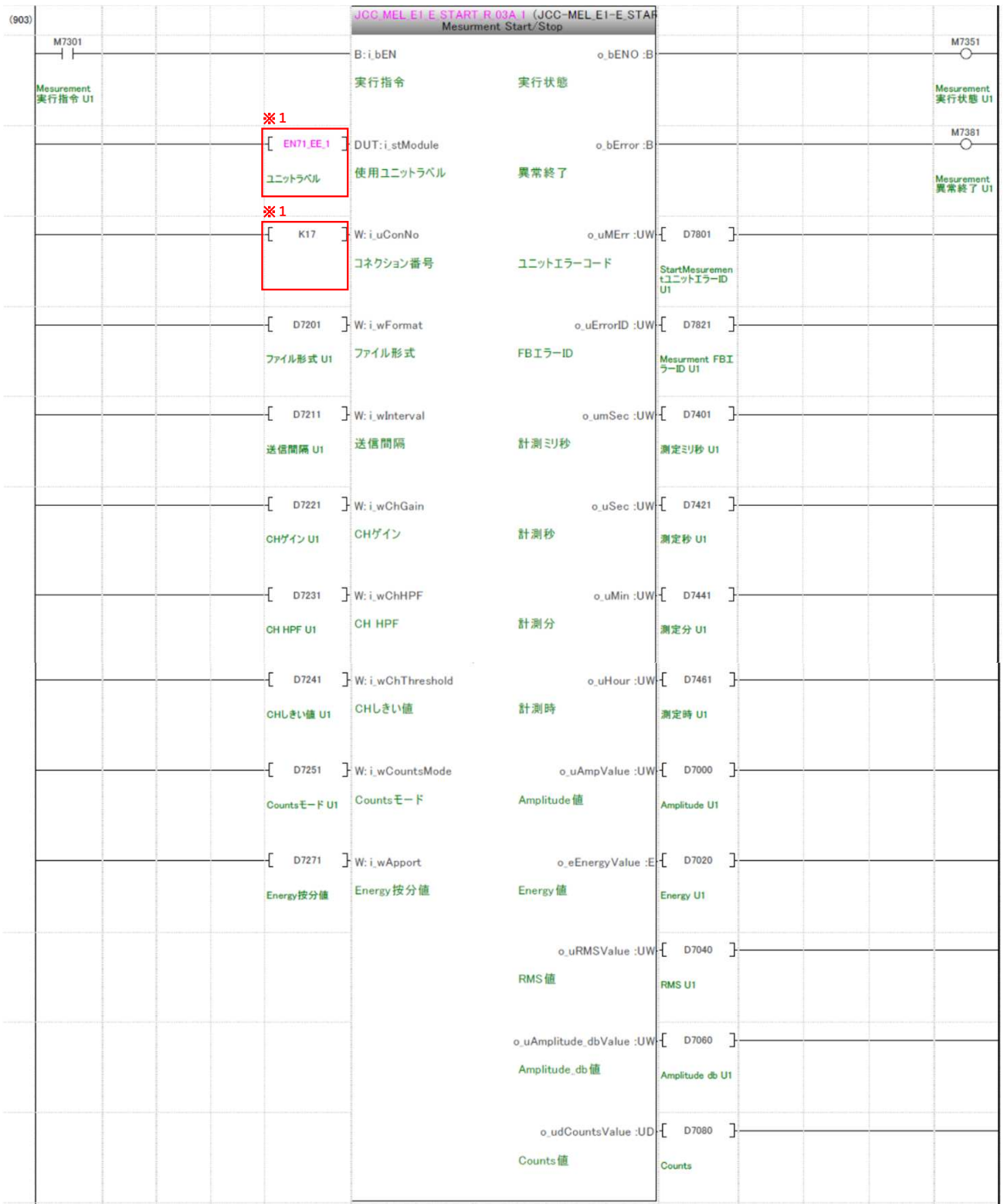
### 【使用方法】

FB実行指令bitのONで計測を開始し、FB実行命令bitのOFFで計測を終了します。

※注意事項：他のFB実行中は計測を実行しないでください。

### 【シーケンス例】

※2026/5/29 修正



※1 ユニット先頭番号、コネクション番号は接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71\_EE\_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71\_EE\_2], コネクション番号=[K65]

※2025/6/6 修正

【入出力ラベル説明】

|        | ラベル名                 | 種別        | ラベル機能                                                             |               |
|--------|----------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------|---------------|
| 入<br>力 | i_bEN                | bit       | FB実行指令                                                            |               |
|        | i_stModule           | ユニットラベル   | Ethernetユニットユニットラベル                                               |               |
|        | i_uConNo             | ワード[符号なし] | Ethernetコネクション番号                                                  |               |
|        | i_uFormat            | ワード[符号なし] | EOB本体内蔵SDカードに保存されるファイル形式<br>0:バイナリ, 1:CSV (MEL-E Uno 1stでは機能しません) |               |
|        | i_uInterval          | ワード[符号なし] | EOBからの送信間隔<br>0:10ms, 1:30ms, 2:50ms, 3:100ms, 4:1000ms, 5:2000ms | ※2026/5/29 修正 |
|        | i_uChGain            | ワード[符号なし] | ゲイン設定<br>0:0dB, 10:10dB, 20:20dB, 30:30dB, 40:40dB, 50:50dB       |               |
|        | i_uChHPF             | ワード[符号なし] | ハイパスフィルタ設定<br>0:スルー, 30:30KHz, 50:50KHz, 100:100KHz, 150:150KHz   |               |
|        | i_wChThreshold       | ワード[符号付]  | しきい値 0:0%~100:100%                                                |               |
|        | i_wCountsMode        | ワード[符号付]  | 交点数モード<br>0x011:0V交点数モード, 0x03:しきい値交点数モード                         |               |
|        | i_wApport            | ワード[符号なし] | Energy 按分値 0~9                                                    | ※2026/5/29 修正 |
| 出<br>力 | o_bENO               | bit       | FB実行状態                                                            |               |
|        | o_bOK                | bit       | FB正常終了                                                            |               |
|        | o_bError             | bit       | FB異常終了                                                            |               |
|        | o_uMErr              | ワード[符号なし] | EthernetユニットエラーID                                                 |               |
|        | o_uErrorld           | ワード[符号なし] | FBエラーID                                                           |               |
|        | o_umSec              | ワード[符号なし] | 計測時刻"ミリ秒"                                                         |               |
|        | o_uSec               | ワード[符号なし] | 計測時刻"秒"                                                           |               |
|        | o_uMin               | ワード[符号なし] | 計測時刻"分"                                                           |               |
|        | o_uHour              | ワード[符号なし] | 計測時刻"時"                                                           |               |
|        | o_uAmpValue          | ワード[符号なし] | Amplitude値                                                        |               |
|        | o_eEnergyValue       | 実数        | Energy値                                                           |               |
|        | o_uRMSValue          | ワード[符号なし] | RMS値                                                              |               |
|        | o_uAmplitude_dbValue | ワード[符号なし] | Amplitude_db値                                                     |               |
|        | o_udCountsValue      | ダブルワード    | Counts値                                                           |               |

【FBエラーコード一覧】

| 番号  | 内容             | 対処方法                                                              |               |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------|---------------|
| 10  | ゲインが設定範囲外      | "0", "10", "20", "30", "40", "50"のいずれかを設定してください。                  |               |
| 20  | HPFが設定範囲外      | "0", "30", "50", "100", "150"のいずれかを設定してください。                      |               |
| 30  | 交点数モードが設定範囲外   | "1"または"3"を設定してください。                                               |               |
| 40  | 保存フォーマットが設定範囲外 | 0:バイナリまたは1:CSVを設定してください。                                          |               |
| 50  | 送信間隔が設定範囲外     | "0", "1", "2", "3", "4", "5"のいずれかを設定してください。                       | ※2026/5/29 修正 |
| 100 | AEセンサ断線        | AEセンサを点検してください。                                                   |               |
| 110 | AEセンサショート      | AEセンサを点検してください。                                                   |               |
| 120 | 過電圧            | AEアンプを点検してください。                                                   |               |
| 130 | 電圧低下           | AEアンプを点検してください。                                                   |               |
| 200 | コネクション設定範囲外    | Ethernetユニットで使用できる17~64, 65~129の範囲で設定してください。                      |               |
| 210 | 通信タイムアウト       | 原因：FB通信を開始後20秒以上応答がない<br>設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。      | ※2022/1/31 修正 |
| 220 | 受信タイムアウト       | 原因：MEL-Eから5秒以上通信が受信できない。<br>通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認してください。 | ※2026/5/29 修正 |

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

三菱電機(株) MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

MEL-E Unoを増設したときのビット番号・デバイス番号の変更例を示します。

※2025/6/6 修正

|       | ラベル機能             | ラベル名                 | MEL-Eユニット |       |       |       |       |       |
|-------|-------------------|----------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       |                   |                      | 1         | 2     | 3     | 4     | 5     | 6     |
| 入力ビット | FB実行指令            | i_bEN                | M7301     | M7302 | M7303 | M7304 | M7305 | M7306 |
| 出力ビット | FB実行状態            | o_bOK                | M7351     | M7352 | M7353 | M7354 | M7355 | M7356 |
|       | FB異常終了            | o_bError             | M7381     | M7382 | M7383 | M7384 | M7385 | M7386 |
| 出力ワード | EthernetユニットエラーID | o_uMErr              | D7801     | D7802 | D7803 | D7804 | D7805 | D7806 |
|       | FBエラーID           | o_uErrorld           | D7821     | D7822 | D7823 | D7824 | D7825 | D7826 |
|       | 計測時刻"ミリ秒"         | o_umSec              | D7401     | D7402 | D7403 | D7404 | D7405 | D7406 |
|       | 計測時刻"秒"           | o_uSec               | D7421     | D7422 | D7423 | D7424 | D7425 | D7426 |
|       | 計測時刻"分"           | o_uMin               | D7441     | D7442 | D7443 | D7444 | D7445 | D7446 |
|       | 計測時刻"時"           | o_uHour              | D7461     | D7462 | D7463 | D7464 | D7465 | D7466 |
|       | Amplitude値        | o_uAmpValue          | D7000     | D7002 | D7004 | D7006 | D7008 | D7010 |
|       | Energy値           | o_eEnergyValue       | D7020     | D7022 | D7024 | D7026 | D7028 | D7030 |
|       | RMS値              | o_uRMSValue          | D7040     | D7042 | D7044 | D7046 | D7048 | D7050 |
|       | Amplitude_db値     | o_uAmplitude_dbValue | D7060     | D7062 | D7064 | D7066 | D7068 | D7070 |
|       | Counts値           | o_udCountsValue      | D7080     | D7082 | D7084 | D7086 | D7088 | D7090 |

## 【重要】AE測定中に中断した場合の復旧方法

AE測定中に外部要因で中断した場合は、必ずFBを停止してMEL-Eを再起動（初期化）してください。

MEL-Eを再起動しないと、再開時にPLCのEthernetユニットに大量のデータが入力されてユニットエラーが発生します。  
"CPUリセット"が必要になります。

■ AE測定中に中断した場合は、次の手順で復旧を行ってください。

- AE測定中にCPUの電源がオフした場合。
  - MEL-E 電源 切/入（再起動）  
※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER\_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
  - CPU電源オン
  - FB実行（実行指令 B:i\_ben=ON）
- AE測定中にLANケーブルが抜けた場合。
  - FB停止（実行指令 B:i\_ben=OFF）
  - MEL-E 電源 切
  - LANケーブル再接続
  - MEL-E 電源 入（再起動）  
※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER\_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
  - FB実行（実行指令 B:i\_ben=ON）
- AE測定中にMEL-Eの電源がオフした場合。
  - FB停止（実行指令 B:i\_ben=OFF）
  - MEL-E 電源 入（再起動）  
※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER\_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
  - FB実行（実行指令 B:i\_ben=ON）
- AE測定中にFBエラー220（受信タイムアウト）が発生した場合。
  - FB停止（実行指令 B:i\_ben=OFF）
  - MEL-E 電源 切/入（再起動）  
※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER\_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
  - FB実行（実行指令 B:i\_ben=ON）

## Point!

AE測定ของข้อมูลที่不安定なときは、初期設定の「送信間隔」を大きくしてください。

シーケンサCPUの処理内容によって、MEL-EのAEデータを取りこぼしたりエラーを発生する場合があります。

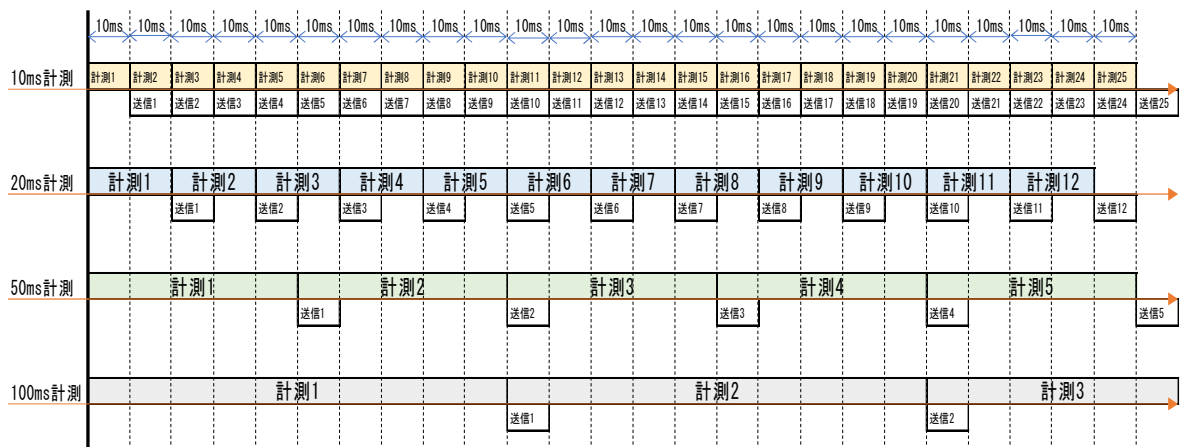
このような場合は、初期設定の「送信間隔」を大きくして、処理の負担を軽減してください。

AEデータの取りこぼしが改善されることがあります。

送信間隔：K0=10ms, K1=20ms, K2=50ms, K3=100ms, K4=1000ms, K5=2000ms

※2026/5/29 修正

計測間隔 イメージ図



## 5. 高速データロガーユニットの設定

※2021/8/3 追記

高速データロガーの設定について説明します。

AEデータをロギングする場合は、高速データロガーユニット（RD81DL96）を使用します。

高速データロガーユニットの設定は、「MELSEC 高速データロガーユニット設定ツール」で行ってください。

MELSEC高速データロガーユニット設定ツールは三菱電機のサイトからダウンロードしてください。

※どなたでも無償でダウンロードできます。

サンプルデータ「MEL-E1\_Sample\_for\_RD81DL96\_20260529.rdlp」での設定例を示します。

※2026/5/29 修正

### (1) ロギング種別・ファイル形式

MEL-E1\_Sample\_for\_RD81DL96\_20210802.rdlp - MELSEC iQ-R 高速データロガーユニット設定ツール

プロジェクト(P) 編集(E) オンライン(O) ツール(T) ヘルプ(H)

RD81DL96

データロギング設定  
01:MEL-E1\_sample(10r)  
イベントロギング設定  
レポート設定  
共通設定

ロギング種別・ファイル形式 収集 データ 期間 CSV出力 フォルダ ファイル 完了

はじめに、ロギング種別とファイル形式を選択してください。

ロギング種別  
ロギングの種別を選択してください。

☒ 連続ロギング(X)  
指定した収集間隔で常時データをロギングします。  
ロギングする期間や条件を指定することもできます。

☐ トリガロギング(G)  
データを監視して条件が成立した(トリガが発生した)際のデータをロギングします。  
☐ トリガ前後行を出力する(A)  
データを監視して条件が成立した(トリガが発生した)前後のデータをロギングします。

ファイル形式  
ロギングを出力するファイルの形式を選択してください。  
レポートに出力する場合はバイナリファイルを選択してください。

☐ Unicodeテキストファイル(U)  
☐ バイナリファイル(I)  
☒ CSVファイル(Q)

ロギング種別は、  
"連続ロギング"  
を選択しています。

ファイル形式は、  
"CSVファイル"  
を選択しています。

### (2) 収集

MEL-E1\_Sample\_for\_RD81DL96\_20210802.rdlp - MELSEC iQ-R 高速データロガーユニット設定ツール

プロジェクト(P) 編集(E) オンライン(O) ツール(T) ヘルプ(H)

RD81DL96

データロギング設定  
01:MEL-E1\_sample(20r)  
イベントロギング設定  
レポート設定  
共通設定

ロギング種別・ファイル形式 収集 データ 期間 CSV出力 フォルダ ファイル 完了

ロギングするデータの収集方式を選択し、収集間隔を指定してください。

☒ 高速収集(S)  
シーケンスキャンに同期した高速な収集が可能です。

収集間隔

☐ 毎スキャン(Q)  
シーケンスキャン毎にデータを収集します。

☒ 時間指定(I) 20 [ms] (0.5~0.9, 1~82767)  
指定した時間に応じて数スキャン毎にデータを収集します。

高速収集指定時の注意事項

- ・アクセス先CPU No.01のデータのみ収集可能です。
- ・高速収集機能に対応したiQ-RシリーズのCPUが必要です。

☐ 汎用収集(G)  
ネットワークを経由した他局シーケンサCPUのデータが収集可能です。

収集間隔

☐ 時間指定(M) [秒] (0.1~0.9, 1~82767)  
指定した間隔でデータを収集します。

☐ 時刻間隔指定(B)  
区切りのよい時刻にデータを収集します。

ごとに収集する

収集間隔は、  
"20[ミリ秒]" (20ms)  
を設定しています。

### (3) データ

※各データに合わせた「データ型」を選択してください。

| No.  | データ名         | アクセス先CPU      | デバイス  |       | データ型                     | サイズ<br>[Byte] | スケーリング | 出力形式        |
|------|--------------|---------------|-------|-------|--------------------------|---------------|--------|-------------|
|      |              |               | 先頭    | 最終    |                          |               |        |             |
| 0001 | TimeStamp1   | CPU01:自局管理CPU | D7401 | D7401 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0002 | TimeStamp2   | CPU01:自局管理CPU | D7421 | D7421 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0003 | TimeStamp3   | CPU01:自局管理CPU | D7441 | D7441 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0004 | TimeStamp4   | CPU01:自局管理CPU | D7461 | D7461 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0005 | Amplitude    | CPU01:自局管理CPU | D7000 | D7000 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0006 | Energy       | CPU01:自局管理CPU | D7020 | D7021 | 単精度実数                    |               |        | 小数形式(桁数:6)  |
| 0007 | RMS          | CPU01:自局管理CPU | D7040 | D7040 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0008 | Amplitude_dB | CPU01:自局管理CPU | D7060 | D7060 | ワード[符号なし]/ビット列[16ビット]    |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0009 | Counts       | CPU01:自局管理CPU | D7080 | D7081 | ダブルワード[符号なし]/ビット列[32ビット] |               |        | 小数形式(桁数:0)  |
| 0010 | LogTrigger   | CPU01:自局管理CPU | M7301 | M7301 | ビット                      |               |        | ON:1, OFF:0 |
| 0011 |              |               |       |       |                          |               |        |             |
| 0012 |              |               |       |       |                          |               |        |             |
| 0013 |              |               |       |       |                          |               |        |             |

### (4) 期間

ロギング条件として、計測開始 (FB:Start Mesurement) 実行指令の"ON"を指定しています。

ロギングを実行する期間を指定します。  
常にロギングする場合は設定する必要がありません。【次へ】ボタンを押してください。

☒ 期間を指定する(S)

☒ 条件に該当する期間はロギングを実行する(U)  
☐ 条件に該当する期間はロギングを実行しない(N)

| No. | 条件種別  | 設定内容          |
|-----|-------|---------------|
| 1   | データ条件 | LogTrigger=ON |
| 2   |       |               |
| 3   |       |               |
| 4   |       |               |
| 5   |       |               |
| 6   |       |               |
| 7   |       |               |
| 8   |       |               |

編集(D) 削除(D) 結合条件(C) OR

ロギング条件として、  
LogTrigger  
(M7310[Mesurment])  
の"ON"を指定しています。

### (5) CSV出力

CSVファイルへの出力内容を設定してください。

日時列  
☒ 日時列を出力する(U)  
 データにタイムスタンプを付加してロギングします。  
☒ 日時のフォーマットを指定する(S)  
 データ名行文字列(Y) TIME  
 データ行出力フォーマット(Z) YYYY/MM/DD hh:mm:ss  
 出力例 2021/08/02 17:34:46.4

ヘッダ行  
☐ コメント行を出力する(M)  
 設定についてのコメントを出力できます。  
 ロギングファイルの先頭に指定したコメントを出力します。  
 コメント(Q)

インデックス列  
 ロギングの連続性を確認するためのインデックス番号を列方向に出力します。  
☒ インデックス列を出力する(X)

トリガ発生情報列  
☐ トリガ発生情報列を出力する(G)  
 トリガが発生したデータ行に指定した印を付加してロギングします。  
 データ名行文字列(A)  
 トリガ条件立上り時(B)  
 トリガ条件立下り時(W)

詳細設定(D)



(6) フォルダ

MEL-E1\_Sample\_for\_RD81DL96\_20210802.rdlp - MELSEC iQ-R 高速データロガーユニット設定ツール

プロジェクト(P) 編集(E) オンライン(O) ツール(T) ヘルプ(H)

RD81DL96 ログタイプ: ファイル形式 収集 データ 期間 CSV出力 **フォルダ** ファイル 完了

データロギング設定  
01:MEL-E1\_sample(10r)  
イベントロギング設定  
レポート設定  
共通設定

設定別の保存フォルダを設定してください。

設定別フォルダ名  
設定ごとの保存ファイルの格納先を指定します。  
/LOGGING/ MEL\_E1

☒ サブフォルダを作成する(S)  
保存ファイルを格納するサブフォルダを作成します。

フォルダ切替えタイミング  
保存ファイルを格納するサブフォルダの切替えタイミングを指定します。  
サブフォルダ内に保存ファイルを255ファイル作成した場合、自動的にフォルダ切替えを実施します。

☒ 条件指定(C)  
下記の条件が成立したときにフォルダ切替えを行います。

| 種別        | 設定内容           |
|-----------|----------------|
| データ条件(比較) | LogTrigger=OFF |

編集(E) 削除(D)

保存フォルダ名  
保存フォルダ切替え時に作成する保存フォルダの名前を指定します。

フォーマット YYYYYMMDD\_hhmmss\_SNUM 編集(Y)

出力例 20210802\_173512\_00000001

サブフォルダの数が255を超える場合、最も古いサブフォルダをフォルダ単位で削除します。  
重要なデータは、他のメディアに保存するなど、定期的にバックアップしてください。

(7) ファイル

※2026/5/29 修正

MEL-E1\_Sample\_for\_RD81DL96\_20210802.rdlp - MELSEC iQ-R 高速データロガーユニット設定ツール

プロジェクト(P) 編集(E) オンライン(O) ツール(T) ヘルプ(H)

RD81DL96 ログタイプ: ファイル形式 収集 データ 期間 CSV出力 フォルダ **ファイル** 完了

データロギング設定  
01:MEL-E1\_sample(20r)  
イベントロギング設定  
レポート設定  
共通設定

ファイルの保存先およびファイルの切替えについて設定してください。

蓄積中ファイル  
蓄積中ファイルに収集データをロギングします。  
/LOGGING/ MEL\_E1 / MEL\_E1 CSV

蓄積中ファイル名  
ロギングファイルの蓄積中ファイルの名前を指定します。  
☒ 設定別フォルダ名と同じ(A) ☐ 保存ファイル名と同じ(V)

蓄積中ファイル保存先  
蓄積中ファイルの格納先を指定します。  
☒ 設定別フォルダ(X) ☐ サブフォルダ(U)

ファイル切替え設定  
ファイル切替えタイミング  
いずれかの条件が成立したときに新しいファイルに切替えます。  
☒ 行数(レコード数)指定(R) 30000 [行] (100~100000)  
指定した行数(レコード数)に達したときにファイル切替えを行います。

☐ ファイルサイズ指定(Z) 16384 [KByte] (10~16384)  
指定したファイルサイズに達したときにファイル切替えを行います。

☒ 条件指定(C)  
下記の条件が成立したときにファイル切替えを行います。

| 種別        | 設定内容           |
|-----------|----------------|
| データ条件(比較) | LogTrigger=OFF |

編集(E) 削除(D)

☐ トリガロギング単位(G)  
トリガ後行数分のデータを出力後にファイル切替えを行います。

保存ファイル名  
ファイル切替え時にそれまでのファイルの名前を変更します。  
変更するファイル名を設定します。

フォーマット SNUM 編集(Y)

出力例 00000001.CSV

保存ファイル数  
保存ファイルの最大数を指定します。  
保存ファイル数(M) 400 (1~65535)

保存ファイル数を超過したときの動作:  
☒ 上書き(W)  
若番ファイルを削除してロギングを続行します。  
☐ 停止(S)  
ロギングを停止します。

転送設定(Q) 設定なし  
ファイル切替え時に保存ファイルをファイル転送またはメール送信することができます。

データ一覧(L) < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) キャンセル

IPアドレス: ユーザ名: データロギング設定数: 1 イベントロギング設定数: 0 レポート設定数: 0 (合計: 1) ...

レコード数指定は  
"30000"を設定しています。

保存ファイル数は  
"400"を設定しています。



## ■ 履歴

### 【ソフトウェア：FBライブラリ】

| バージョン番号 | 日付        | 内容                                                  |
|---------|-----------|-----------------------------------------------------|
| v100A   | 2021/2/3  | 初版                                                  |
| v100B   | 2021/7/19 | HPF初期設定値変更 K0:THRU→K1:30kHz                         |
| v100C   | 2022/1/26 | FBエラーID=220（受信タイムアウト）追加                             |
| v100D   | 2022/3/23 | 処理修正（EthernetユニットエラーLEDクリア処理の削除）                    |
| v100E   | 2022/4/14 | InitializeData HPF：0→30, 冗長ラダー削除                    |
| v100F   | 2025/6/6  | AE計測中の通信遮断対策                                        |
| v101A   | 2025/7/23 | バグ修正、仕様追加（初期設定：送信間隔 1000ms, 2000ms、初期設定：Energy 按分値） |
| v102A   | 2026/3/2  | バグ修正：Energyデータ マイナス値処理、Energyデータ下位16Bit計算修正         |
| v103A   | 2026/6/17 | バグ修正：AE計測開始/停止の繰り返しによるデータ計測中断対策                     |
|         |           |                                                     |

### 【ソフトウェア：高速データロガーユニット設定ファイル】

| バージョン番号  | 日付        | 内容                                                               |
|----------|-----------|------------------------------------------------------------------|
| 2021802  | 2021/8/2  | 初版                                                               |
| 20260529 | 2026/5/29 | 設定変更：ファイル 行数(レコード数)指定(100000→30000)保存ファイル数(65535→400) 動作(停止→上書き) |
|          |           |                                                                  |

### 【MELSEC IQ-R接続用ソフトウェア 解説書】

| 資料番号       | 日付         | 内容                                                                             |
|------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| FNF0040110 | 2021/2/24  | 初版                                                                             |
| FNF0040111 | 2021/8/3   | 追記：P11 5,高速データロガーユニットの設定、誤記修正：P5 HPF初期設定値                                      |
| FNF0040112 | 2021/11/11 | 追記：P3 ユニットラベル変更、P5 コネクションNo.1-16設定データ、誤記修正：P7,8                                |
| FNF0040113 | 2021/12/28 | 追記：P6 RJ71EN71に2台のMEL-E Unoを接続する場合の設定方法                                        |
| FNF0040114 | 2022/1/31  | 追記：P6 MEL-E Unoの通信先IPアドレス変更、P10,12,14 FBエラーID=220（受信タイムアウト）                    |
| FNF0040115 | 2022/3/30  | 追記：P1 "コンスタントスキャン"機能の注意事項、P3 同じFBライブラリを複数回組み込む場合の注意事項<br>P17 AE測定中に中断した場合の復旧方法 |
| FNF0040116 | 2022/4/22  | 誤記修正：P1                                                                        |
| FNF0040117 | 2025/6/6   | 修正：システム構成:MEL-E Uno 接続先をRJ71EN71 P2からP1へ変更、最大接続ユニット数を10から6に変更                  |
| FNF0040118 | 2026/5/29  | 追記：P2 シーケンサAE計測の手順、修正：P1, 2, 3, 6, 8, 11, 15, 16, 17, 18, 20                   |
| FNF0040119 | 2026/6/5   | 修正：P3                                                                          |
| FNF0040120 | 2026/6/22  | 修正：P3                                                                          |
|            |            |                                                                                |

### 【MELSEC IQ-R接続用ソフトウェア 解説書 RnENCPU追補版】

| 資料番号       | 日付         | 内容                          |
|------------|------------|-----------------------------|
| FNF0040140 | 2021/12/2  | 初版                          |
| FNF0040141 | 2021/12/11 | 誤記修正                        |
| FNF0040142 | 2021/12/16 | 追記：P2-4 RnENCPU_E+EF        |
| -          | 2021/12/28 | MELSEC iQ-R接続用ソフトウェア 解説書に統合 |

\*本製品はAEセンサをキーテクノロジーとして採用したデータロギングシステムです。機械故障予兆診断結果、品質管理を保証するものではありません。

## ■お問合せ

株式会社ジェイ・シー・シー  
<https://www.j-isb.jp/>

### < 神戸事務所 >

〒675-0031  
 兵庫県加古川市加古川町北在家2444 大日加古川ビル3F  
 TEL : 079-423-2550 / FAX : 079-423-2551

### < 技術センター >

〒471-0015  
 愛知県豊田市上野町4-1-2  
 TEL : 0565-87-2205 / FAX : 0565-87-2206